

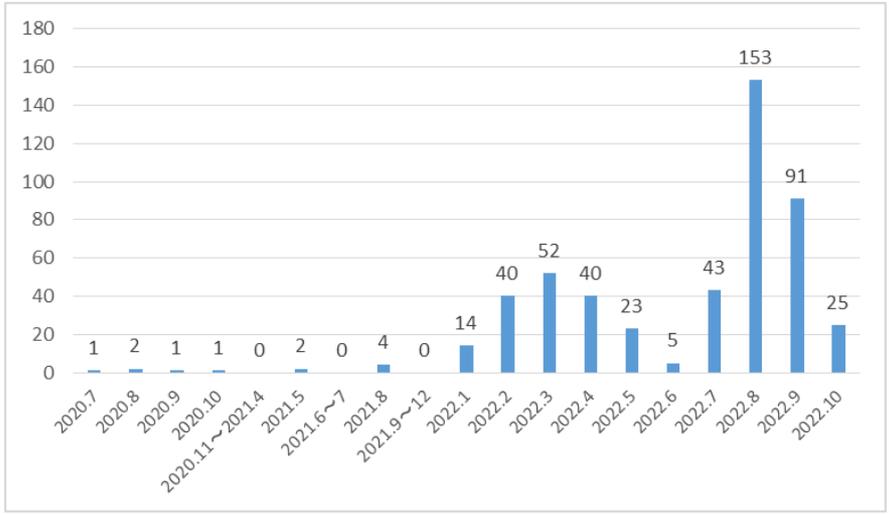
# 本市職員の新型コロナウイルス感染の傾向(2022.10.20現在)



2022年10月 月例市長記者会見  
資料3-1 総務部職員厚生課

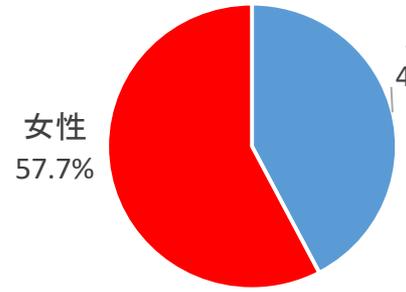
2022年10月20日現在の本市職員(正職員及び会計年度任用職員等)の新型コロナウイルスの感染傾向は以下のとおりです。

## ◆感染者数 497名 (2022.10.20 現在)

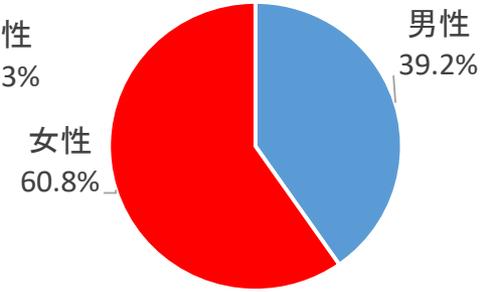


## ◆男女比

【職員全体】

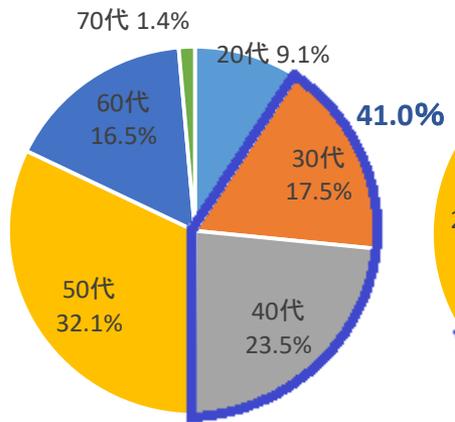


【感染者】

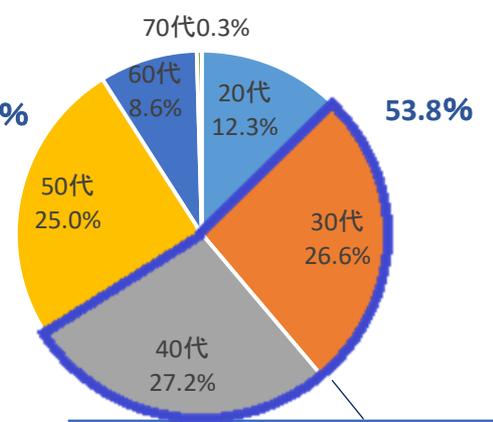


## ◆年齢構成

【職員全体】



【感染者】



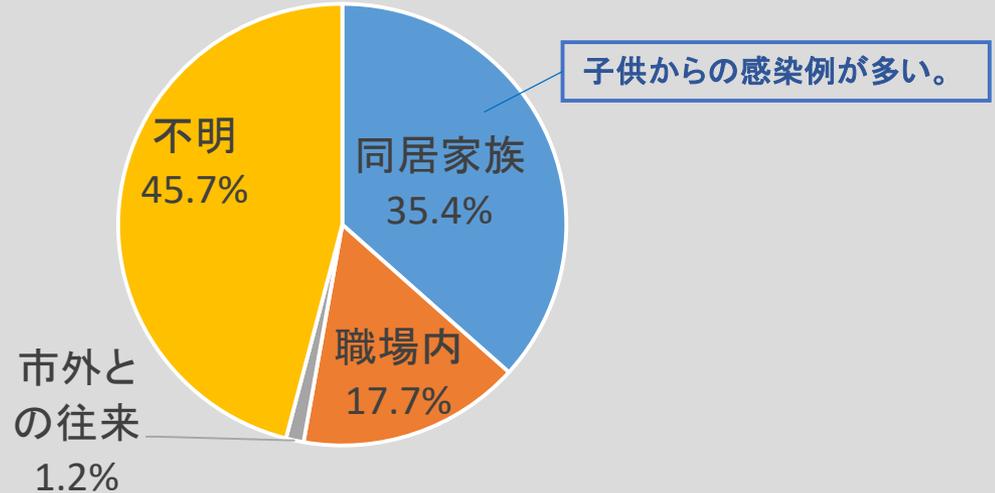
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

## ◆職員区分別感染率

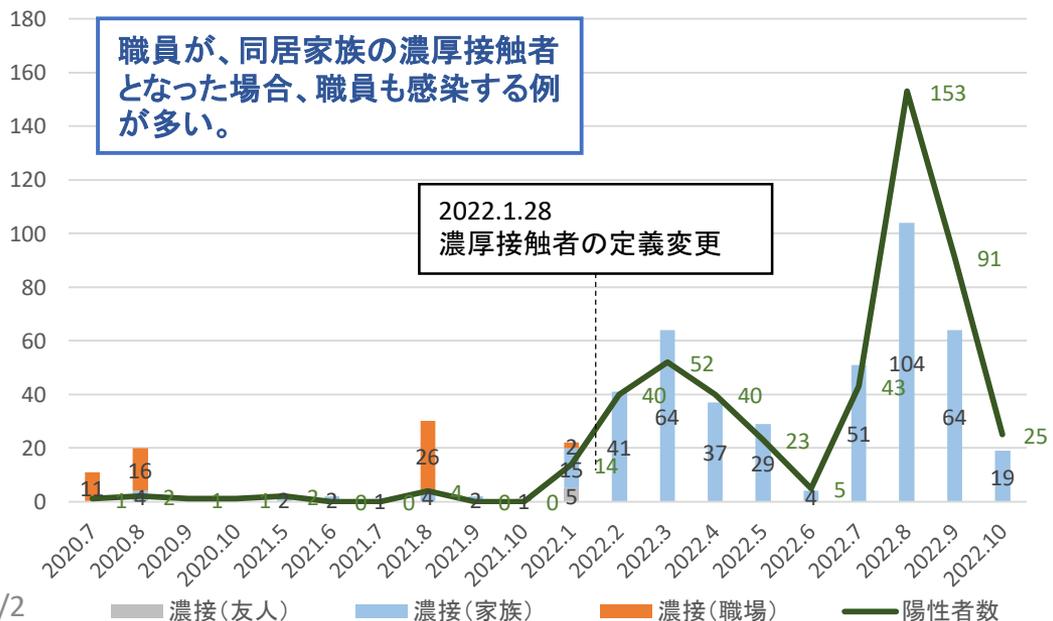
区分	人数 (2022/10/1)	感染者数 (2022/10/20)	感染率	ワクチン接種率 (感染時)
正職員 (再任用含)	2,112 人	288 人	13.64%	94.4%
会計年度任用職員	1,625 人	209 人	12.86%	91.9%
合計	3,737 人	497 人	13.30%	93.4%

◆感染経路(推定)

区分	人数	割合
同居家族	176	35.4%
職場内	88	17.7%
市外との往来	6	1.2%
不明	227	45.7%
合計	497	100%



◆濃厚接触者及び陽性者推移



◆感染傾向を踏まえた今後の対策案

本市施設においては、第7波以降は大規模クラスターが発生していないことから、職場内における基本的感染対策は概ね継続されているものと思われる。

一方、主に子供が感染元となっている同居家族からの感染者は、職場内感染者数の約2倍以上であり、家庭内における感染対策が、全体の感染者数を抑制する有効な対策である。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行も懸念される冬季を迎えることから、新型コロナワクチン4回目接種の早期実施の推奨や、職場では実施されている常時換気やマスク着用などの基本的感染対策が、会計年度任用職員を含めた全職員の家庭内においても確実に実行されるよう周知徹底をはかっていく。